巻頭特集

いなべの茶っぷりん

地元の茶を使った個性派スイーツがずらり!

いなべ市内の茶の生産者と、地域の飲食店とのコラボから生まれた「いなべの茶っぷりん」。2018年からは市内の参加店を巡るスタンプラリーも開催され、茶を生かした個性あふれるプリンが人気を集めています。

今年も豪華賞品が当たるスタンプラリーを開催中

いなべの茶っぷりん――。一風変わった名前の取り組みが、じわりと人気を集めています。いなべ市産の茶を使い、地域の菓子店や飲食店が開発したプリンを、共通の商品名で販売するというプロジェクトで、今年で6年目を迎えました。2018年からはいなべ市観光協会主催のスタンプラリーも行われ、「お茶を使った個性あふれるプリンが味わえる」と評判を呼び、参加者も年々増加しています。

4回目となる今年のスタンプラリーは10月31日まで。参加する13店舗で3つのスタンプを集めると、「さくらポーク」(3万8000円相当)や青川峡キャンピングパークコテージ宿泊券(3万4000円相当)などの豪華賞品が抽選で当たります。

「みなさんのご協力のおかげで、茶っぷりんもだいぶ浸透してきました」。時折笑顔を見せながら話してくれたのは、いなべ市大安町石榑地区で茶を栽培する伊藤典明さん。明治時代から生産される「石榑茶」の伝統を受け継ぐ「マル信緑香園」の5代目です。

三重県産の茶は「伊勢茶」として広く親しまれ、茶樹に覆いをして作る「かぶせ茶」は、全国一の生産量を誇ります。いなべ市大安町石榑地区でもかぶせ茶の生産が盛んで、寒暖差により適度なストレスが加わり、茶のうま味が引き出されるのが特長です。葉肉が厚く、透き通った若草色の茶を口に含むと、想像以上に深みのある味わいが口中に広がります。

キャッチーな名前を活かし菓子店とのコラボを発案

中学・高校の体育教師として14年間勤務した後、実家を継いで茶の生産者となった伊藤さん。「自分たちが作るお茶の魅力を、もっとたくさんの方に知ってもらえないか」。そんな想いを抱き、新たなPR方法を考えている時、ふと頭に浮かんだのが「茶っぷりん」というネーミングでした。「せっかくだからこの耳馴染みの良いフレーズを活かして、地元の菓子店や飲食店とコラボできないかと考えました。お茶の魅力を発信するためには、生産者の力だけでは限界があります。それならば、それぞれ素晴らしい個性を持った地域のお店とタッグを組むことで、より多くの方に地元のお茶の魅力を伝えられないかと考えたのです」

伊藤さんはすぐさま行動を起こします。まず足を運んだのが、地元の人気菓子店「こんま亭」でした。「お茶を使ったプリンを作ってもらえませんか」。突然の相談にも関わらず、伊藤さんの熱意が伝わり、コラボが実現することに。これを足掛かりにカフェや菓子店などを手当たり次第に訪問した伊藤さんは、15軒ほどのお店とコラボの約束を取り付けたのです。

「個人の頑張りでは限界がある」と感じた伊藤さんは、「地域を巻き込んだ取り組みへと広げていきたい」と考えます。自身が所属する大安町茶生産組合と、北勢町茶業組合の承諾を得た後、地元の商工会や観光協会にも協力を仰ぎました。商工会では改めて説明会を開催し、さらなる参加店舗を募る一方、観光協会では、いなべ市を訪れてもらうきっかけ作りに使おうと、新たな観光資源としてPRしていくことが決まり、茶っぷりんの商標登録も行うことになったのです。

参加店の個性を大切にし他にはない独自の魅力を

茶っぷりんは、製法などをあえて細かく定義していません。条件は2つ。いなべ市内の茶を使うこと。そして、漠然とプリンであること。「条件を厳しくすればその分、参加店のオリジナリティを削いでしまう。どこでも同じようなものでは、せっかく足を運ばれる方も面白くありません。参加店のオーナーさんの個性を発揮してもらった方が、食べ歩きの楽しみも増すだろうと考えました」。

伊藤さんの目論見通り、できあがった茶っぷりんは、どれも他にはない個性を放っています。パンの中にプリンを入れてみたり、豆乳を使ってみたり、またコーヒーと緑茶を組み合わせた一品もあります。「どれも私たちお茶屋さんでは思い浮かばないようなものばかり。思わず足を運んでみたくなるような逸品が揃っています」。

いなべの茶っぷりんが始まって6年。プロジェクトの一員である伊藤さんも、徐々に手ごたえを感じ始めていると言います。「知人の娘さんが名古屋市内の大学に進学したそうなのですが、いなべ市出身であることを伝えたところ、『あの茶っぷりんの街だね!』と人から言われたそうなんです。若い女性にも浸透してきているんだと嬉しくなりましたね」。

伊藤さんは現状で満足しているわけではなく、さらなる認知度アップを見据えています。今後はスタンプラリーをさらに盛り上げるべく、SNSを活用したPR方法などを模索中です。「茶っぷりんという名前は、きっと海外でもウケるはず。今後は日本国内だけでなく、海外にも展開していきたいです。そして、地元の温泉とコラボし、ニューヨークで入浴しながら茶っぷりんを食べる。これが今後の夢ですね」と笑います。

❶ 参加店それぞれの個性を大切にしているという「いなべの茶っぷりん」。同じブランドだとは思えないほど多種多様な逸品が揃う ❷ 2015年5月に行われた「いなべの茶っぷりん」の発表会。茶畑の前に設けられたテーブルの上にそれぞれの店が開発したプリンが並んだ ❸ 朝晩の気温差が大きい山間地で育ち、深みのある味わいから全国にも愛好家が多い石榑茶 ❹ かすりの着物姿で「いなべの茶っぷりん」をPRする子どもたち

マル信緑香園 5代目
伊藤典明さん

スタンプラリー参加店舗

ういこっちゃね(数量限定で土・日のみ販売)
キッチュエビオ いなべヒュッテ(数量限定)
陽光ビオファーム オレンジ工房
ビストロ シェスギ(要予約)
パスタ家 POPO(3日前までに要予約)
トラットリア tomato(要予約)
洋食屋 SAKURA
ふれあいの駅 うりぼう
アントニオ
Patisserie Café こんま亭
Cake & Cafe VANILLA
いなべ プリン店
Cafe de UN Daniel's
至 関ヶ原町　至 東近江市　至 菰野町　桑名駅　図書館　中央町

店舗	郵便番号	住所	電話
Patisserie Cafe こんま亭	〒511-0264	いなべ市大安町石榑東1217-1	TEL 0594-78-1649
cake&cafe VANILLA	〒511-0275	いなべ市大安町鍋坂2486-15	TEL 0594-78-0630
洋食屋 SAKURA	〒511-0214	いなべ市員弁町岡丁田2112-7	TEL 0594-74-5251
いなべプリン店	〒511-0281	いなべ市大安町門前994	TEL 0594-28-8848
アントニオ	〒511-0233	員弁郡東員町城山1丁目2-2	TEL 0594-76-6566
Cafe de UN Daniel's	〒511-0065	桑名市大央町49-6	TEL 0594-23-7030
ビストロシェスギ	〒511-0427	いなべ市北勢町麻生田中道1439-2	TEL 0594-72-7777
パスタ家 POPO	〒511-0202	いなべ市員弁町楚原868-6 ゼンパーク1F	TEL 0594-74-5750
ふれあいの駅 うりぼう	〒511-0224	いなべ市員弁町大泉2517	TEL 0594-74-5866
陽光ビオファーム オレンジ工房	〒511-0428	いなべ市北勢町阿下喜2624-2	TEL 0594-72-5130
キッチュエビオ いなべヒュッテ	〒511-0428	いなべ市北勢町阿下喜31 にぎわいの森内	TEL 0594-72-7773
ういこっちゃね	〒511-0502	いなべ市藤原町上相場828	TEL 070-2795-7446
トラットリア tomato	〒511-0203	いなべ市員弁町畑新田135-2	TEL 0594-74-5541

information
いなべ市観光協会 [住所]いなべ市員弁町笠田新田73-1 [電話]0594-37-3514

いなべの茶っぷりんウェブサイトはこちら

マル信緑香園　いなべ市大安町石榑南2225-2　☎0594-78-0027

文/平井基一　写真提供/いなべ市観光協会、マル信緑香園　デザイン/chica